

2014 9/9

No.1978

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



赤ちゃんの成長を祝い、力強く泣くことで健やかな発育を祈願する「一心泣き相撲」が8月24日、横浜市南区の太田杉山神社・横濱水天宮で行われた。130人の小さな男女の力士が「土俵入り」した。



視点・点描	3
川崎宿は活性化の原動力	
国際	4
米、シリア空爆も検討 イスラム国掃討で介入強化	
社会	6
社会を変えた東海道新幹線 開業50年、工夫を重ねて進化	
企業最前線	8
参入相次ぐ格安スマホ 携帯大手の料金に影響も	
くらし2014	10
パタニティー・ブルー	
広告珍談	12
～いまこそ広告すべき⑥ コンカツ広告を一	
NNAアジア経済レポート	13
会員のページ	14
設立50周年は2年後に(その3) 機関誌 会員の動き	
会員のページ	15
設立50周年は2年後に(その3) 機関誌	

事務局だより

◇横浜定例講演会

2014年9月10日(水)

13時30分～15時

横浜ベイシェラトンホテル&
タワーズ 4階「清流」

講師は前駐中国全権大使、伊
藤忠商事前会長の
丹羽 宇一郎 氏

演題は「日中関係と日本経済
のこれから(仮題)」

◇横浜定例講演会

2014年10月1日(水)

14時～15時30分

横浜情報文化センター 6階
「情文ホール」

講師は株式会社タニタ前代表
取締役会長の 谷田 大輔氏

演題は「タニタの経営論～世
界初・家庭用体脂肪計、タニ
タ食堂 誕生秘話を交えて
(仮題)」

視点 点描



川崎宿は活性化の原動力

江戸時代、東海道の宿場町としてにぎわった川崎宿の歴史や文化を紹介する「東海道かわさき宿交流館」(川崎市川崎区)が10月1日、開館1周年を迎える。東海道というビッグネームと町歩きブームなどを追い風に、入館者は8月1日、5万人を突破した。開館時は年間で3万〜4万人と見込んでいただけに、関係者にとってはいずれも誤算となった。

5万人目の入館者となったのは千葉県浦安市の主婦本間佳奈子さん(40)。長男(8)、長女(4)、母親(69)の4人で訪れ幸運を射止めた。8月23日、交流館の斎藤文夫名誉館長から記念品が贈られ、「夏休みのいい思い出になりました」と笑顔を見せた。

市街地を貫く旧東海道の面して立つ交流館。建物は4階建て、総床面積約1千平方メートル。1階には奈

良茶飯が評判だった旅籠「万年屋」を模した四畳半の休憩所がある。最近では羽田空港から直接、大型バスで来館するアジアなどからの外国人観光客が増えており、畳の休憩所は初めて触れる日本文化として人気があるという。

「江戸時代にタイムスリップ！」がテーマの2階は、宿場時代の川崎を展示。宿場の街並みなどが紹介されている。東海道を往来した旅人の姿で記念撮影ができる。コ



畳敷きの休憩所。外国人観光客にも人気だ

スプレッドスポット「六郷の渡し」は人気だ。3階は「江戸時代から現代へ！」がテーマ。地図と写真でたどる川崎の今昔などを見ることもができる。4階は集会室。

旧道沿いには、多数の浮世絵を所蔵し無料公開している川崎・砂子の里資料館や、歌川広重の東海道五十三次の中から川崎宿など12点をシャッターの絵にした川崎信用金庫本店などがあり、一帯は川崎宿らしさが演出されている。

川崎市は川崎宿を生かした地域活性化事業に取り組む。松並木のような当時をしのぶものは残っていないが、町の活性化に歴史を生かす動きに拍車がかかっている。

交流館は入場無料。月曜休館。問い合わせは☎044(280)7321。

(神奈川新聞社川崎総局長

小松 裕史)

コンカツ広告を

バツイチだろうと、バツニだろうと、なにことも経験ゆたかなほ

うがよろしいかどうか知らない

とはないと思います。姿といえ

よ」と、石川新聞に載ったは18

が、男も女も、コンカツばかりと

あつたが いいムコは見当たらず、愚妻・親類とも困り切つてお

とか。新聞広告とはキキメ絶大

か。どんな活動が効果あるの

ります。「嫁と縁を組まんと欲す

あるぞよ。

う。ぜつたいキキメあるのは新聞

の諸賢は新聞を以て之を広告せ

★大阪のバツイチ、ヨメ求む。

広告です。広告してまでと思うな

よ」と、石川新聞に載ったは18

81(明治14)

かれ、明治のころから成功例がわ

年5月。やさ

しい父親は中

んさとあつた。ほんの1例を

村太郎左衛門

という人。応

★日本初、ムコ求む広告

結広告が出た

かどうかは不

しあわせ願望の広告なのに漢字

明です。

明です。

だらけなので、読みやすくすると

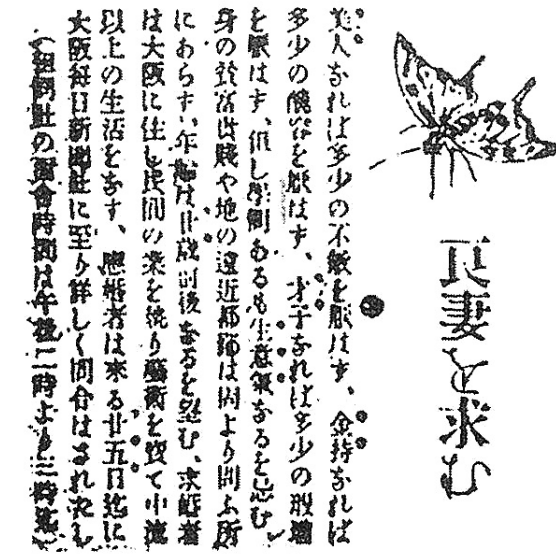
★ヨメ求む。

こちらバツイ

こうなる。

こちらバツイ

チなり!



美人されば多少の不敏を厭はず、金持されば多少の醜容を厭はず、才子されば多少の醜態を厭はず、但し學問あるも生意氣あるを忌む、身の貧乏世賤や地の遠近都鄙は固より問ふ所にあらず、年輪は廿歳前後を忌む、求婚者は大阪に住む民間の業を執り藝術を授て中流以上の生活を志す、應婚者は来る廿五日迄に大阪毎日新聞社に至り詳しく問合はされし、(図)「良妻と求む」の新聞広告、(○)「良妻と求む」の新聞広告、(□)は判読不能。えらそーな文章。芸術を売るとはなにごとぞ。大阪毎日縁談斡旋もする、親切な新聞社であった。チョウチヨのイラストが不気味!

私にはことし、16歳になる娘が

10人並以上、目はパツチリと鼻高

自由勝ゆゑ、

います。裁縫はもちろん、いっさ

からず低からず、口もとやさしく

歳にて嫁にならうと思ふ者は照会

いの女仕事は巧みで、となり近所

色白く、声もよく通るといふ申し

あれ。津活版印刷業中尾勝三郎。

の評判もよろしい。4・5年前か

分のなさ。もはや16となつたので、

83(明治16)年1月、伊勢新聞が

ら三味線のけいこもおこたらず、

早く嫁入りさせようと、いろいろ

掲載。なんと1ヵ月後に結ばれた

り、めでたい酒宴にも恥をかくこ

早く嫁入りさせようと、いろいろ

掲載。なんと1ヵ月後に結ばれた